

1 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

保険・一般常識 試験問題用紙

(2026年1月)

注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効(得点なし)となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は正誤式・選択式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。記述式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄に解答を楷書で記入してください。
6. 選択式の問題で1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は超過した解答数に応じて減点または0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外(万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等)は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式、選択式または記述式の問題です。解答は問題に応じて解答用紙の該当するマークを塗りつぶすか、または楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

火災保険の「物件の種類と判定」に関する次の 1 および 2 のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から 1 つずつ選び、その番号を答えてください。

1. 「物件の種類と判定」および「一つの建物」について

- ア. 工場敷地内に所在し、不特定多数の外部の者が利用できる飲食店は、その工場の製品を扱う場合、一般物件とすることも工場物件とすることもできる。
- イ. 業務用機器等を用いずに事務・企画・ソフト開発の業務を行っている住宅建物は、住宅物件料率を適用することができる。
- ウ. 工場敷地内に所在する住居専用建物は、工場の囲い（塀、垣、柵等）の外にある場合に限り、住宅物件とすることも工場物件とすることもできる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 「建物の構造級別」および「構造に関する用語」について

- ア. 住宅物件（一般建物）において、主要構造部が防火構造の建物は、T構造となる。
- イ. 一般物件における建築用仮設工作物または設備とは、足場、さん橋、仮枠の類または工事用のリフト、クレーン、コンクリートミキサー、コンベヤ、コンプレッサー、運搬具等をいう。
- ウ. コンクリートブロック造建物とは、コンクリートブロック（鉄材補強のものを除く）を積み重ねて造った建物をいい、鉄骨造および木造の外壁にコンクリートブロックを用いたものを含む。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題2】

次の1～8の記述は、住宅総合保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険において、地震によって発生した事故が延焼または拡大して保険の対象に損害が生じた場合、その損害は損害保険金支払いの対象となる。
2. この保険において、失火見舞費用保険金の支払対象となる事故は、「火災、落雷、破裂・爆発」である。
3. この保険において、野積みの動産は、保険の対象に含まれない。
4. この保険において、保険契約者が、保険金を不法に取得する目的または第三者に保険金を不法に取得させる目的で締結した保険契約は、失効となる。
5. この保険では、火災により保険の対象である建物に損害が生じ、その復旧のために保険契約者または被保険者が支出した必要かつ有益な費用に対して、修理付帯費用保険金が支払われる。
6. この保険において、1個または1組の価額が20万円の書画、骨董、彫刻物その他の美術品は、特別の約定がない限り、保険証券に明記されなくても保険の対象に含まれる。
7. この保険において、保険の対象の自然の消耗もしくは劣化、変質、腐敗、浸食等による損害に加え、保険の対象の欠陥（相当の注意をもってしても発見し得なかった欠陥を含む）によって生じた損害に対して、保険金は支払われない。
8. この保険において、火災により保険の対象に損害が生じ、その損害の拡大を防止する目的で消火活動のために緊急に投入された人員または器材にかかわる費用（人身事故に関する費用、損害賠償に要する費用または謝礼に属するものを含む）は、必要または有益な費用として損害防止費用が支払われる。

【問題3】

Aさんは、同一敷地内に所在し、自分が所有する店舗専用のX建物およびY建物を保険の対象として、甲保険会社および乙保険会社に、付保割合条件付実損払特約を付帯して普通火災保険（一般物件）契約をそれぞれ締結していましたが、火災によりこれらの建物に損害が生じました。保険契約の内容および損害の状況は、次のとおりです。

この場合、X建物およびY建物の損害に対して支払われる損害保険金について、それぞれの金額を解答用紙に記入してください。

なお、保険金の算出にあたっての計算は、その都度端数処理を行わないで連乗するものとし、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

	契約時の保険価額	約定付保割合	損害額	罹災時の保険価額 (時価額)
X建物 (甲保険会社)	3,000万円	95%	2,500万円	4,000万円
Y建物 (乙保険会社)	2,000万円	80%	500万円	1,500万円

【問題4】

「地震保険に関する法律」に基づく地震保険に関する次の1および2のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つずつ選び、その番号を教えてください。

1. 保険の対象および契約方法について

- ア. この保険において、居住の用に供する建物を保険の対象とする場合、門、塀もしくは垣または物置、車庫その他の付属建物は、これらを主契約である火災保険の対象として建物に含めて契約する場合でも保険の対象に含めることができない。
- イ. この保険は、主契約である火災保険契約に原則自動付帯であるため、主契約が地震保険の対象物件であるときは保険契約者から地震保険を付帯しない旨の申し出がない限り、主契約と同時に契約される。
- ウ. この保険では、分譲マンションのような区分所有建物において、マンション管理組合等が火災保険の保険契約者となり共用部分を一括して保険の対象とし、地震保険を付帯して契約する場合でも、地震保険を希望しない区分所有者の共有持分については、マンション管理組合等の保険契約者の確認印を取り付けたうえで、地震保険を付帯しないことができる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 保険金の支払いについて

- ア. 地震の際の洪水等の水災により、建物が床上浸水または地盤面より 45cm を超える浸水を被った結果、建物に損害が生じた場合で一部損に至らないときには、その建物を一部損とみなして保険金が支払われる。
- イ. この保険において、建物の主要構造部の損害の額には、損害が生じた建物を原状回復するため、地盤等の復旧に直接必要とされる最小限の費用が含まれる。
- ウ. この保険では、保険契約者や被保険者、保険金を受け取るべき者またはこれらの法定代理人の故意または重大な過失により損害が生じた場合、保険金は支払われない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題5】

Bさんは、自分の住居専用建物と同建物内収容の生活用動産（家財）を保険の対象として、建物の保険金額は4,500万円、生活用動産（家財）の保険金額は700万円です。住宅総合保険契約を締結しました。その際、同時に「地震保険に関する法律」に基づく地震保険を付帯することとし、地震保険契約の保険金額を、建物、生活用動産（家財）とも契約できる最高額で設定しました。

過日、地震に起因する火災により、建物および生活用動産（家財）が損害を被りました。損害の状況が以下の場合、次の1および2の金額を解答用紙に記入してください。

なお、地震発生時のこの建物および生活用動産（家財）の保険価額は、いずれも主契約である住宅総合保険契約の保険金額と同額とします。また、算出した額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

〔損害の状況〕

	建 物	生活用動産（家財）
損害割合	30%	40%

（注）建物の焼失床面積は考慮不要とし、建物の損害割合は、地震に起因した火災による地震保険における主要構造部の損害割合とします。

- 地震保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる保険金は、それぞれいくらになりますか。
- 主契約である住宅総合保険から建物および生活用動産（家財）に対して支払われる地震火災費用保険金は、それぞれいくらになりますか。
なお、支払われない場合は、解答用紙に「なし」と記入してください。

【問題6】

次の1～6の記述は、火災保険による債権の保全について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 抵当権の目的物は、登記（土地・建物等）または登録（自動車等）など公簿の記載による公示の可能な物に限定されている。
2. 保険金請求権に質権を設定する場合で、第三者のためにする保険契約を締結するときは、保険契約者と被保険者が異なるため、保険契約者が質権設定者となる。
3. 保険金請求権に質権を設定する場合、損害保険会社は、保険料入金前に火災保険契約について質権設定を承認した場合であっても、債権者（質権者）に対し、保険料未収による免責を主張することができる。
4. 保険金請求権に質権を設定する際の被担保債権は、通常は金銭債権であるが、現在発生していない条件付債権または将来の債権であってもよい。
5. 一つの保険金請求権に対して複数の質権が設定されている場合、保険証券は先順位の質権者が占有し、後順位の質権者は占有することができない。こうした場合には、後順位の質権者は先順位の質権者（証券占有者）から保険証券の代理占有の承諾を取りつける必要がある。
6. 保険契約と同時に質権の設定を行う場合で保険証券の作成が後日となるときは、質権は保険証券作成日から有効となる。

【問題7】

火災保険の特殊契約方式に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア. 付保割合条件付実損払特約を付帯できる適用物件は、物件種別が一般物件の場合、1級および2級の構造級別の建物、またはこれらの建物に収容される動産である。
- イ. 付保割合条件付実損払特約において、実際の保険金額が約定付保割合を超過していた場合にも、保険金額を限度として実損払いが行われる。
- ウ. 火災通知保険特約では、数量が絶えず変動する商品、製品、半製品、仕掛品、原材料および副資材が保険の対象となる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題8】

店舗休業保険、利益保険および営業継続費用保険に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 店舗休業保険において、保険証券記載の建物等へ通じる袋小路およびそれに面する建物は、保険の対象に含まれる。
- イ. 営業継続費用保険において、営業継続費用の軽減に効果があった復旧促進費用および保険の対象の復旧に要する費用は、保険金の支払い対象となる。
- ウ. 利益保険では、被保険者が占有管理する敷地内に所在し、かつ、被保険者の営業に直接関係のある物件（賃貸業の場合は、賃貸物件を除く）が保険の対象となる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題9】

新種保険に関する次の1および2の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その番号を教えてください。

1. 賠償責任保険の特別約款について

- ア. 施設所有者特別約款において、病院・薬局等の治療・調剤・施術、弁護士・建築士等の職業行為など、専門的職業行為に起因する損害賠償責任は、保険金支払いの対象となる。
- イ. 請負業者特別約款において、請負業者が行う地下工事、基礎工事、土地の掘削工事に伴う地盤変動に起因した事故に対する賠償責任は、保険金支払いの対象となる。
- ウ. 自動車管理者特別約款において、盗取または詐取による場合を除き、自動車の使用不能に起因する損害賠償責任（代替車の賃借料など）に対しては、保険金を支払わない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 賠償責任保険以外について

- ア. 動産総合保険において、落雷により保険の対象に損害が生じた場合、その損害は保険金支払いの対象となる。
- イ. 機械保険において、保険の対象である機械の納入者が、被保険者に対して法律上または契約上の責任を負うべき損害を与えた場合、その損害は保険金支払いの対象とはならない。
- ウ. 建設工事保険において、分解・解体または取片づけ工事は、保険契約の対象とされる工事に含まれる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題 10】

次の1～3の記述は、自動車保険の対物賠償について述べたものです。□に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

1. この保険において、被保険者の負担する損害賠償責任の額について、□ 1 □ 場合には、被害者に対して、保険金相当額の損害賠償額は支払われない。

《選択肢》

- ア. 被保険者と被害者の間で、調停が成立した
 イ. 被保険者と被害者の間で、口頭による合意が成立した
 ウ. 法律上の損害賠償責任を負担すべき全ての被保険者が死亡し、かつ、その法定相続人がいない

2. この保険において、対物事故により □ 2 □ が所有、使用または管理する財物が滅失、破損された場合には、それによって被保険者が被る損害に対して保険金は支払われない。

《選択肢》

- ア. 被保険者の兄 イ. 被保険者の孫 ウ. 被保険自動車を運転中の者

3. この保険において、保険会社は請求完了日（被保険者が保険金の支払いの請求手続きを完了した日）からその日を含めて □ 3 □ 日以内に、保険会社が保険金を支払うために必要な事項の確認を終え、保険金を支払う。

《選択肢》

- ア. 30 イ. 90 ウ. 180

【問題 11】

次の1～4の記述は、保険価額の評価について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 商品の評価における保険の対象は、特段の明記がなければ、自己所有の商品に限定されるので、受託品や預かり品は、原則として保険の対象から除外される。

2. 建物の経年減価額の算出にあたり、建物外部の修理が行われている等、当該建物の維持管理状況に応じて、残価率の修正を行う必要はない。

3. 毎月棚卸をしていない企業の商品を評価する場合、直近の決算時の「貸借対照表」の商品、貯蔵品等の金額、または「損益計算書」の期末棚卸高を基準とする。

4. 営業用什器・備品の評価にあたっては、同一規格の営業用什器・備品が複数ある場合において、1台の営業用什器・備品の価額とそれを操作稼働するのに必要な器具、備品類の価額を算出し、これに当該営業用什器・備品の台数を乗じて全体の価額を概括的・総体的に把握する方法がある。

【問題 12】

損害保険契約に関する法律知識について述べた次の1および2の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その番号を教えてください。

1. 損害保険契約およびその成立と効力

- ア. 損害保険契約の法的性質のうち、不要式契約性とは、保険契約者が保険者の作成した保険約款を包括的に承認して契約を締結するか否かを決定することをいう。
- イ. 損害保険契約の締結後に危険が著しく減少したときは、保険契約者は、保険者に対して未経過期間について危険の減少に対応する保険料の減額を請求することができる。
- ウ. 保険法では、保険契約者等を保護するため、保険契約者等に不利な規定は無効とする「片面的強行規定」が定められており、海上保険契約にも「片面的強行規定」が適用される。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 保険契約者と被保険者の義務および損害保険契約の解除

- ア. 保険法において、損害保険契約の保険契約者は、いつでも損害保険契約を解除することができる」と規定している。
- イ. 損害防止義務は、保険事故発生自体の防止義務であり、保険事故発生後の損害の発生および拡大を防止する義務ではない。
- ウ. 保険契約者または被保険者は、保険事故による損害が発生したことを知ったときは遅滞なく保険者に対してその旨の通知を発しなければならないが、保険法では、損害発生の通知が到達しなかった場合のリスクを保険契約者側に負わせることは適切ではないため、通知が発信されたときから効力が生じる発信主義が採用されている。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題 13】

次の1～4の記述は、損害賠償に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ教えてください。

1. 損害保険金（火災保険金）は、損害賠償額の算定に際して損益相殺の対象となる。

2. 製造物責任法において、製造業者等が当該製造物を引き渡した時点における科学または技術知識の水準によっては欠陥があることを認識することが不可能であったことを当該製造業者が証明した場合には、製造物責任を免れる。

3. 判例では、公務員が職務上、故意または過失によって違法に他人に損害を与えた場合、当該公務員は被害者に対して民法の不法行為による賠償責任を負わない。

4. 土地に設置している建物（建物内のエレベーターや壁は除く）に瑕疵があったため他人に損害を与えた場合は、第一次的にその建物の占有者が賠償責任を負い、占有者が損害の発生を防止するために必要な注意をしたことを証明したときは、第二次的にその建物の所有者が賠償責任を負う。

【問題 14】

個人情報保護法に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア. この法律において、損害保険関係では、保険契約者以外の者（被保険者、保険金受取人、被害者、加害者）に関する情報は個人情報に該当するが、リスク度合いの判定などの評価情報は個人情報に該当しない。
- イ. 個人情報取扱事業者は、その取り扱う個人データの漏えいが発生した場合、いかなるときでも、当該事態が生じた旨を個人情報保護委員会に報告しなければならない。
- ウ. 個人情報取扱事業者は、利用目的の達成に必要な範囲内で、個人データを正確かつ最新の内容に保つとともに、利用する必要がなくなったときは、当該個人データを遅滞なく消去するよう努めなければならない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題 15】

次の1～4の記述は、リスクマネジメントの基礎について述べたものです。□に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

1. ISO31000 では、□ **1** は、目標に対する不確実性の影響と定義されている。

《選択肢》

ア. ペリル

イ. ハザード

ウ. リスク

2. 発生頻度は低いが損害額（損害の規模）が大きいリスクは、「リスクの □ **2** 」を選択することが合理的である。

《選択肢》

ア. 移転

イ. 分散

ウ. 保有

3. □ **3** とは、企業グループ内に設立された保険会社のことをいい、当該保険会社が、親会社・グループ会社の保険契約を引き受ける「リスクの保有」の1つの形態である。

《選択肢》

ア. 自家保険

イ. キャプティブ

ウ. 保険デリバティブ

4. 製造物責任事故予防対策（PL 事故予防対策）において、製品の安全性が有効かどうかについて安全性テストを実施し、安全設計の審査を行うのは、□ **4** の欠陥の予防対策である。

《選択肢》

ア. 設計上

イ. 製造上

ウ. 指示・警告上